

ArCS III フィンランド・北極域フィールドコース 2026 年度

1. 実習の概要と目的

本フィールドコースは、ラップランド大学、オウル大学、およびフィンランド気象研究所（FMI）北極宇宙センター（Arctic Space Centre）との連携のもと、フィンランド北部で実施する。現地でのフィールド体験と、専門家による講義から、北極域の気候・環境・社会・文化を包括的に学び、北極域研究の実践・方法論の理解を深めることを目的とする。日本の若手研究者が北極域研究を実施するための実践的な学びと経験の場を提供し、自立した研究を実施するための礎となることを目指す。また、海外の同世代研究者や経験豊富な研究者との交流とネットワーク形成を促す。

2. 参加者

日本の大学に在籍する修士課程および博士課程の学生（北極に関連する全分野を対象）。
参加者数は、応募状況および予算・必要経費を踏まえて決定

3. 引率者

Juha Saunavaara（北大北極域研究センター准教授）、平田貴文（同特任准教授）

4. プログラム案（2027 年 1 月 23 日～31 日）

- 1 日目：日本発
- 2 日目：ロヴァニエミ到着、市内オリエンテーションおよびサンタクロース村訪問
- 3 日目：ラップランド大学北極センター（国際関係、北極ガバナンスと法、北極人類学・先住民研究、グリーントランジション、北方生態系、ジオエンジニアリング等の講義、科学コミュニケーション、アルクティクム科学センター、ラップランド地域博物館見学）、ロヴァニエミ周辺でのプログラム
- 4 日目：ラップランド大学北極センター講義を継続、ソダンキュラ（Sodankylä）へ移動
- 5 日目：フィンランド気象研究所・北極宇宙センター・ソダンキュラ地磁気観測所（施設見学、研究・観測紹介、積雪観測実習）、ロヴァニエミへ移動
- 6 日目：オウルへ移動、オウル大学での講義（生物多様性の変化と生態系への影響、永久凍土、積雪動態と寒冷地域の水文学、先住民サーミ文化とレジリエンス、北極圏の健康、北方天然資源の持続可能な利用、経済、歴史）、オウル周辺でのプログラム（凍結した海の見学等）
- 7 日目：オウル大学での講義
- 8 日目：総括ディスカッション、学習内容についての振り返り、フィードバックの収集、現地発
- 9 日目：日本帰着

4. 支給経費

- （1）交通費 往復交通費、現地交通費等
- （2）日当・宿泊費 本学が定める規則に沿って支給
- （3）査証等取得費 査証など取得にかかる費用

(4) 海外旅行保険

(5) その他 入場料など本フィールドコースに必要と認められる経費

5. 応募・選考

2026 年 9 月 25 日～10 月 16 日 : 公募

2026 年 10 月 30 日 : 選考結果通知

11 月中旬 : オリエンテーション（オンライン）

申請書類：

- ・志望理由書（応募動機、実習内容と自身の研究活動との関連、実習参加がどのように役立つか、応募者が参加に適していることを示す実績）
- ・学位取得証明書または在学証明書
- ・在留カードまたはその他の在留資格を証明する書類（外国籍の応募者のみ）
- ・語学能力を証明するもの

選考基準：

- ・志望理由が本プログラムの内容と目的に合致しているか
- ・十分な語学力およびコミュニケーション能力を有しているか

プログラム終了後の義務：

- ・学習内容および経験を振り返るレポート提出
- ・本プログラムの特別セッションが開催される場合には活動内容について発表
- ・アウトリーチ活動への協力（ウェブサイト、一般向けイベント等）

6. 問い合わせ先

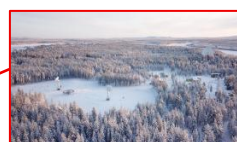
〒001-0021 札幌市北区北 21 条西 11 丁目

北キャンパス総合研究棟 2 号館（次世代物質生命科学研究棟）2 階

北海道大学北極域研究センター ArCSⅢフィンランド・北極域フィールドコース 担当

TEL：011-706-9622

E-MAIL：arcs3_HU@arc.hokudai.ac.jp



Arctic Space Center



University of Lapland



University Of Oulu